

## 平成 27 年度 第 2 回 魚沼市総合計画審議会 議事要旨

- 日時 平成 27 年 6 月 10 日 19:00～21:00
- 会場 魚沼市小出ボランティアセンター 多目的室
- 出席者
  - (委員) 橋裕一、櫻井伸一、井口政秀、坂大貞次、中出文平、平井正尚、星俊寛  
坂井隆雄、滝沢茂、佐藤喜郎、小幡中治、横山正樹、 椋沢一彦  
(欠席:三友泰彦、布施克也、岸本達行)
  - (事務局) 企画政策課企画政策室  
酒井課長、森山室長、吉澤係長、佐藤主任、中村主任、諸橋主任、森山主任

### ●開会

### ●副会長挨拶

### ●会長及び副会長の選出について

※岡部会長が所属団体である魚沼市商工会連絡協議会の役員改選に伴い審議会委員を退任されたため、互選により櫻井副会長が新たに会長となり、橋委員が副会長となることを決定。

#### (1) 第二次魚沼市総合計画案の策定状況について

・事務局説明の後、委員から質問意見を受け、質問に対しては事務局が回答し、意見については今後庁内の策定本部で検討することとした。

### ●主要指標について

委員 ) 主要指標であるが、第一次総合計画では世帯数も示していた。世帯数の推移も指標として載せてはどうか。

事務局 ) 掲載を検討したい。

委員 ) 人口フレームであるが、見込みが甘過ぎるのではないか。国の推計値と市独自の推計値に開きがあり過ぎる。前回の計画でも高い目標値を出していたが、実際の国勢調査の結果は大きく下回るものであった。

- 事務局 ) 将来の人口見込みが厳しい事は十分承知しているが、将来の人口予測については、国の方で進められている長期ビジョンの中で示されている方向性を受けながら、市としても目標を示したいという考えから推計を行っている。
- 委員 ) 人口フレームとして最終的に示されている 2060 年というのはかなり先の見込みで現実味がない。2040 年くらいにしてはどうか。
- 事務局 ) 2040 年も示す方向で検討したい。
- 委員 ) 国土利用計画法に基づく計画の名称として「魚沼市計画」でよいのか。
- 事務局 ) 一般的に「国土利用計画に基づく●●市計画」となっている。
- 委員 ) 財政フレームが示されているが、将来の負担比率が高くなっており、このような見込みを示して他の市町村から魚沼市に行きたいと思ってもらえるのか。人口フレームに関しても出生率が上がる気がしない。
- 事務局 ) 大型建設事業などがあると数値は大きく上がってしまう。しかし、その中でも健全比率は守りたい、という思いである。人口に関しては様々な施策を打って少しでも人口が減少するのを減らしたいと考えている。
- 委員 ) 将来人口推計の考え方で、UI ターン希望率をどのように捉えて社会増を見込んでいるのか。転出者が、いつ、何歳で戻ってくるかの検証をし、再精査すべきである。
- 委員 ) 将来の人口として夢を描く事は大切であるが、むしろその値を市民や職員がどう意識するかが重要である。市民も職員も本気になれる施策がないと意味がない。
- 委員 ) 人口ビジョンや総合戦略の検討を進めているとの事であるが、総合計画との関係性はどのようなものか。
- 事務局 ) 総合計画の中でも人口問題対策について具体的に戦略を示したものが総合戦略であり、当然整合を取る形で検討を進める。
- 委員 ) 行政として目標人口を高く設定したいという思いも分かるが、市民がどう捉え、どう危惧するか。希望を持たせるのか危機感を与えるのか。
- 事務局 ) 重要な視点であると思う。人口ビジョンについては国の推計手法に倣って推計する事となっており、総合計画でもその値を受けている。再精査を行うとともに、説明表現についても工夫したい。
- 櫻井会長) どのように人口を見通すのかについては色々と問題もあるだろうが、検討して欲しい。

## ●第1回総合計画審議会での意見とその反映について

- 委員 ) 前期基本計画の重点施策については理解できる。ここから総合戦略にスライドして具体的な施策が示されていくのだと思う。大事なのは人口推計で示す出生率なり社会増なりの目標値を実現するために、どんな施策を立てるかである。子供が2、3人産めるように何をするのか、UI ターンしてもらうために何をするのか、それをここでできちりと書き込んであれば、市として宣言してあればそれで良い。別項を立てるか、表現はお任せするが、それが重要である。ただ、今書かれている主要な施策は数が多過ぎる気がする。
- 事務局 ) 実際に行う事業は、実施計画として行政側でまとめる事になる。総合計画とも整合を取りながら総合戦略でできるだけはっきりと表現したい。
- 委員 ) 総合計画に個別事業まで書く必要はないが、重点施策を分かるように書いて宣言する事が重要である。総合戦略はあくまでも戦略で、市の最上位に来る計画が総合計画である。総合戦略につながるキーワードは入れておいても良いと思う。
- 委員 ) ある程度人口減少になるのは仕方がないが、町場に人口が集中してしまい、山間部の残された住民が買い物難民化している。市と農協等がタイアップして買い物難民対策を行う事が必要であるという点も加えてもらいたい。全ての市民が安心な暮らしをできるようにしなければいけない。
- 委員 ) 健康教室について、人や支援の面で厳しい部分があり開催数が減ってきている。教室を通じて、健康や出産、子育てという面に対して妊婦さんに安心感をもってもらえると思うが、なかなか難しい状況にある。
- 委員 ) 「前期基本計画の重点施策」は横断的に書かれており、網羅されているのだが、そこで挙げられている「結婚」「出会いの場」をどのように支援していくのかという点については基本計画の中で示されていない。健康福祉分野の「安心して産み育てる喜びを感じることができる社会の構築」に結婚を希望する男女を支援するという文章を加えてはどうか。
- 委員 ) 教育文化に関する基本目標については了解した。しかし、基本方針があつて、それが大切な事であるにもかかわらず、教育の現場にはそれが伝わっていない。キャリア教育が必要である。
- 委員 ) 市の中でも人口が減っているところと増えているところがある。平等は必要だが、全てに等しくサービスを提供することがよいのか疑問もある。
- 委員 ) 本市の商工観光について、特に商業は弱い。市のスタンスも弱い。対策が必要

である。また、農観業に力を入れるというのが第一次総合計画の後期基本計画にあったが、それはなくすのか。

事務局 ) 農観業については、言葉としては出していないが、なくすという事ではなく、そういった考え方も含めて記載しており、考え方自体は生きているものである。

委員 ) 防災情報基盤のところにある「情報通信事業者」とはコミュニティ FM の事か。具体的に書いてはどうか。

事務局 ) 防災情報については、コミュニティ FM だけでなく、携帯電話事業者など様々な事業者を想定し、含んだ記載としている。

委員 ) 健康福祉分野の現状と課題について、基幹病院を軸とした考え方が書かれているが、優先順位では市立小出病院が軸となるべき。

委員 ) 健康づくりの推進について記載されているが、市でも進めている食育、食のまちづくりについてここでも記述してはどうか。

委員 ) 定住人口確保の取組として、就職相談会等の開催とあるが、誰が行うのか。市が積極的に行うのであれば、書き込んではどうか。

委員 ) 安全安心な学校施設の整備の中で、学校の耐震化について書いてはどうか。

## (2) 今後の策定スケジュールについて

事務局 ) 本日の意見も踏まえて、庁内策定本部で検討を加え、7月の地元説明会に臨みたい。また、8月にはパブリックコメントを行い、それらも含めた市の案として固めて、9月以降に審議会に諮問させて頂きたい。スケジュール案では、9月から11月の間に4回程度集中審議頂く事を想定している。日程については後日調整させていただく。

●閉会

(終了20:30)